

式 辞

春爛漫の言葉のとおり、木々には花が咲き、新芽が息吹き、光溢れる季節を迎えました。命輝く今日の佳き日に、多数の御来賓の皆様、保護者、御家族の皆様方の御臨席を賜り、かくも盛大に令和七年度愛媛県立野村高等学校入学式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

只今入学を許可いたしました46名の新入生のみなさん、入学おめでとう。皆さんの入学を在校生・教職員一同、心から祝福いたします。これから皆さんが学ぶ野村高校は、今年創立80周年を迎え、卒業生や地域のたくさんの方々の熱い思いに支えられた、素晴らしい歴史と伝統を誇る学校です。そのような学校で、これからの三年間は、教科の学習や体験活動をとおして、時間をかけて試行錯誤することにより、将来、新しい課題に出会ったときに対応できる力を身に付ける時期としてください。そして、集団の中でまわりの友人に誠実に接するなどして社会性を身に付け、自立した大人に向かっていくための鍛錬をしてください。

人は何かをしようと思っても、実際にはなかなかチャレンジすることができないそうです。「二兎を追うものは一兎をも得ず」ということわざがあります。これは二羽のうさぎをあわよくば一度に捕まえようと試みて、結果どちらも手に入れられなかった、欲張ると失敗する、という意味ですが、人はしたことよりもしなかったことに強い後悔を感じます。二歩のうさぎを追いかけて失敗しても、追いかけなかった後悔よりは追いかけた経験が、皆さんの力になるのです。しなかった後悔は、「もし、あの時していれば」という想像でそれを増幅させてしまいます。ほんの少しだけ勇気を持って挑戦し、万が一、失敗したとしても、その経験が皆さんの人生を^{かたち}形作るピースの一つとなり、悔いのない人生を歩む力となるのなら、皆さん、欲張ってさまざまな経験を積んでみましょう。

本校の校訓、「^{うらわ}美しく、新しく、逞しく」は、「新しい」ことへの挑戦が、それぞれの経験を積む中で「逞しさ」を育み、そこで得た「生きる力」は皆さんが将来「^{うらわ}美しく」生きるための礎となることを示唆しています。今日の喜びと決意を忘れることなく、充実した高校生活を過ごすために、勇気をもって挑戦してくれることを期待しています。

保護者の皆様、御家族の皆様、本日は誠におめでとうございます。お子様の成長を支援していくためには、家庭と学校が連携し、協力していく必要があります。本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、お子様が成長していく過程を、共に見守っていただきますようお願いいたします。

結びに、新入生の皆さんの高校生活が充実し、大いなる飛躍につながることを心から祈念いたしまして、式辞といたします。

令和七年四月八日

愛媛県立野村高等学校長